

第6回 小金井市産業振興プラン策定委員会 議事録（素案）

日時 令和8年3月12日（木）午後2時30分～午後4時30分

場所 市民会館・萌え木ホール（商工会館3階）A会議室

出席委員 12名

委員長	中庭光彦	委員
委員	佐藤剛	委員
	中根里美	委員
	橋本佳菜美	委員
	山口清	委員
	鴨下敏明	委員
	渡邊恭秀	委員
	今井哲一郎	委員
	益田智史	委員
	渡邊雅毅	委員

欠席委員 1名

副委員長	西川亮	委員
------	-----	----

事務局	経済課長	島田泰吉
	経済課産業振興係長	田中達也
	経済課産業振興係主任	木村伊志
	株式会社国際開発コンサルタンツ	氏原茂将

傍聴者 1人

議事

1. 開会（午後 2 時 30 分）

2. 議題

(1) パブリックコメントの実施結果及び寄せられた意見に対する検討結果について

事務局が資料 1 を用いて、素案に関するパブリックコメントの意見と回答について説明を行った。

- | | |
|-------|---|
| 中庭委員長 | パブリックコメントの回答をみると自治体の姿勢が分かる。このような内容でよいか委員として確認いただきたい。 |
| 益田委員 | 意見自体が分かりにくいので噛み砕いて説明してもらいたい。 |
| 中庭委員長 | 意見 1 は、小金井市だけで目的地を作ろうとするよりも、ポイント経済やメディアを介した PR など加味した取組が必要なのではないかということである。意見 2 は業界団体がいないような新規産業は予算がつきにくいいため、予算の充当のあり方を考えてほしいということと認識している。 |
| 益田委員 | 意見 1 について、吉祥寺駅周辺や立川駅周辺は商業的な賑わいはあるが、小金井市がそうなれるのか議論した。議論の際には、住民は閑静な住宅地を求めているということもあるため、産業振興にあたっては「小金井らしさ」というキーワードを考案した。それを踏まえると意見 1 に対しては、そのようなまちづくりは目指していないと言ってもよいのではないか。そういう対応はよろしくないのか。 |
| 中庭委員長 | 回答の第一段落はよいが、「複数の要素が複雑に絡み合い…」のあとに「多数の動機が生まれるなかで」と追記した方がよい。第二段落は、いかにも行政らしい回答になっている。益田委員の意見も踏まえて「小金井らしさを追求するおもしろい商業者を多数生むプラットフォームが必要です。商業者・市民の密接なコミュニケーションの場をつくってまいります。」と差し替えてもいいのではないか。今井委員はいかがか。 |
| 今井委員 | そのとおりでよいと思う。 |
| 中庭委員長 | 意見 2 にある新規事業者の支援については、方針 2・3 において明記されている。第一段落のあとに、「方針 2・3 はそれを明記するものです。」と続けるべきだと考える。 |
| 事務局 | 承知した。 |

(2) 小金井市産業振興プランの最終案について

事務局が資料 2 を用いて、小金井市産業振興プランの最終案の説明を行った。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 中庭委員長 | プラン本編について何らかの変更が必要か意見をいただきたい。 |
| 今井委員 | 今後 5 年間、使っていくプランであるため、意見を言いたい。 |

1点目は産業まつりに言及がないのは疑問があるということ。

2点目は十五夜バルの写真タイトルは「商店会連合会」が正しいので修正いただきたい。

3点目は P25 の各主体の役割では「商店会」と書かれているが、「商店会連合会」も追記してもらいたい。そうすると用語解説にも商店会連合会を追加することになると考える。

最後に委員名簿には経済課の担当者の氏名を入れるべきと意見したが、名簿に担当者名がない理由は何か。責任の所在が不明瞭になってしまうことを懸念している。

事務局 他の行政計画の名簿の記載内容を調査したが、担当者の氏名が明記されている事例はなかったため、それに合わせている。責任を曖昧にしようとするつもりはなく、経済課として責任を持って策定している。

中庭委員長 行政の担当者の名前が書いてあっても、計画期間中に異動してしまう。そうなるとう属人的に責任を持つものではなく、経済課という組織が責任を持つべきだと考える。

今井委員 表紙のデザインの趣旨は何か。

事務局 中央に小金井らしいアイコンをあしらっている。上段はイベント的なアイコンとしていて、下段はプレイヤーを表すアイコンとなっている。

今井委員 キッチンカーについては違和感がある。

中庭委員長 商圈を広げるために、市の縁辺にアプローチする手法としてはあり得るのではないか。

事務局 キッチンカーについてはイベントを表現できるアイコンとして選定している。

中庭委員長 産業まつりが言及されていないことに違和感はあるか。事務局はどのようにとらえているか。

事務局 方針1の取組内容にて産業まつりに言及している。ただし、既存事業のなかで産業まつりについて記載するか検討したい。

鴨下委員 市民まつりについては、市長が実施すると判断すればよいことなので、プランに書いてもらいたいとは思っている。

市長による冒頭のあいさつのなかで東小金井エリアが取り上げられ、「チャレンジができるまち」と書かれていることは唐突に感じる。東小金井駅周辺だけでよいのか。武蔵小金井駅周辺はどのように考えているのか。

また、プランの成果に関する評価はどのように考えているのか。

中庭委員長 評価については P27 に評価の考え方が示されているが、それ以上の内容を求めているということか。

鴨下委員 市役所が旗を振っているプランであるため、起業や事業継承に取り組むなら、評価の考え方について姿勢を示してもらいたい。

また、東小金井駅北口の土地区画整理事業や武蔵小金井駅北口の再開発に言及されていないことも気になるところである。

中庭委員長
事務局

まずは東小金井エリアのことについて事務局から回答をお願いしたい。東小金井エリアについては、方針4にも起業・創業を特徴としたい旨が書かれている。市長においては、起業・創業の環境が整っているという認識があり、市政方針でも触れているところである。市長の冒頭のあいさつは、それに基づいている。

鴨下委員

東小金井駅周辺の起業・創業について触れるのであれば、大学や専門学校にもアプローチした方がよい。また、土地区画整理事業や市街地再開発事業も重要であるが、いかがか。

中庭委員長

市内で実際に動いていることを取り込むべきであるという意見はもっともであるが、プランはこの1年間の意見交換に基づいて作成されているものであるため、令和7年12月時点の最新の状況が反映されている。その時点では武蔵小金井駅と東小金井駅を同等のエリアと位置づけようということであったはずである。

ただし、東小金井駅周辺が先行して動いていくのだと思われ、武蔵小金井駅北口の市街地再開発事業が続くものとする。今後の展開を踏まえて意見交換の場で話し合いを持ち、進行形のまちの動きを捉えていくとよいと考える。

鴨下委員

それについては了解した。
創業・起業を盛り上げていくのであれば、これまでの実績については教えてもらいたい。

事務局

KO-TO やベンチャーポートの支援の成果については、P8 に過去の実績を掲載している。それを踏まえた委員会での意見交換により、P16 にあるように創業支援施設入居者の市内定着に向けたニーズ調査を位置づけている。

中庭委員長

その調査結果を開示し、評価するということは書かないのか。プランでは実績が書かれているものの、それがよいのかどうか評価されていない。

事務局

評価の考え方は素案に示している。現時点で考えられる指標を示しているが、これが最適な指標かは分からない。意見交換の場において指標についても議論し、適宜追加・変更を検討していけるとよいと考えている。

鴨下委員

そのような取組は年度ごとに行ってもらいたい。

中庭委員長
事務局

評価が次年度予算につながればよりよいと思う。プランに反映できるのか。指標を用いた評価は5年間になるが、単年度評価については記載方法を検討したい。ただし、プランにて指標に位置づけているデータが単年度で把握できないものであることが懸念される。

中庭委員長

プランに示された指標による評価は5年後になるだろう。単年度ごとの評価にあたっては、指標にあるような統計やアンケート結果ではなく、中間支援団体から市に情報提供をしてもらうことになるかと考える。各団体の市

内産業に関する所見のような定性的な情報でも構わない。行政と中間支援団体が協力して評価に取り組むことが大切である。

山口委員 行政としてはPDCAサイクルを回すことは重要である。それに関して言えば、この委員会での意見を取り入れた「今後実施を検討する事業」は素晴らしいと思うが、どのように実施され、事業に反映されたのかを検証することは必要と考えるが、いかがか。

中庭委員長 今後実施を検討する事業は、予算を獲得して実施していくものとする。そういった事業については行政内部で評価しているはずである。その情報を、市民にも分かりやすく開示していくとよいのではないか。

事務局 ご意見のとおりと考える。行政として、今後実施を検討する事業の実施状況についてはフォローしていくこととなる。また、本プランにおいて意見交換の場をつくるということが決まっているので、そのなかで情報提供をしていくことが重要なのだろうと考える。

中庭委員長 事務局の言うように毎年情報を開示していくとのことなので、いかがか。

山口委員 今後実施を検討する事業の数が多いので、今後実施していく上で、事業の優先度をどのように判断するのかが気になっている。

中庭委員長 意見交換会の場でみなさんが議論いただけるとよいのではないか。時間の経過やプランの進捗のなかで優先順位は変わる。プランに従いすぎるのもよくないことであり、話し合いながら柔軟にやってもらえる方がよいのではないか。

橋本委員 名簿の名前が間違っているのを修正いただきたい。

事務局 修正する。

益田委員 「わくわく都民農園小金井」の用語説明のなかに「シニア農園」とあるが、その名称を「セミナー農園」に変えようとしているので変更してもらいたい。また、「地域農園」が特徴のある取組なので言葉として入れてもらいたい。

(3) 小金井市産業振興プラン概要版について

事務局が資料3を用いて、小金井市産業振興プランの概要版の説明を行った。

佐藤委員 概要版にしては言葉遣いが難しい。例えば、IoTやRPAといった言葉が使われているが、分からないのではないか。その他、「伴走支援」「実装する」「資する」といった言葉も難しいと思う。本編は用語集で解説されているが、概要版ではそれがない。言葉を平易にして、分かりやすくした方がよい。

中庭委員長 裏表紙に小金井市の役割が書かれているが、扇型の図で、市と事業者・市民団体等のあいだに商工会、商店会、観光まちおこし協会が挟まっていて、仲介しないと市との連携はできないのか。そのように見えてしまう。

今井委員 確かにそのように見える。

鴨下委員
事務局

JA や農業振興連合会は一番上なのか。中間支援団体の同列ではないか。
(以下の図を板書。)



中庭委員長
今井委員
事務局

このような図でよいと考える。
表紙はもっと見ようと思えるような表現にしてもらいたい。
検討する。

3. その他

事務局

最後に修正について整理したいが、商店会と書いている箇所にはすべて商店会連合会と併記してよいか。

今井委員
事務局

それでよい。
P2 の中間支援団体の説明のなかにも商店会連合会を入れるとして、3 団体のままでよいか。

今井委員

それでよい。

中庭委員長

市からの補助金等は、商店会連合会がすべて仲介しているのか。

今井委員

そうではない。それぞれ別に動いている。

中庭委員長

そうであれば4 団体と書くべきである。用語集も別に記載するべきである。

事務局

そうすると、P24 の主体の関係性の図においては、やはり農業振興連合会は事業者・農業者と同列になるのか。

中庭委員長

産業振興プランでは、農業振興連合会は中間支援団体とは位置づけられていないが、農業者と農業振興連合会の関係は、事業者と中間支援団体の関係と同様であるため、中間支援団体と同様の位置づけでよい。

事務局

産業まつりについては施策のなかに入れ込むかたちでよいか。

今井委員

産業まつりに言及する必要があるところに入れ込んでもらいたい。

事務局

表紙の右上のアイコンを産業まつりにするという意見があったが、いかがか。

橋本委員

左上が産業まつりになると、上段がすべてお祭りになってしまう。賑わいがすべてお祭りになるので、キッチンカーのままの方がいいのではないか。

中根委員

確かにそのように思う。

中庭委員長

買い物をしている人のアイコンがない。

渡邊（雅）委員

上段中央のうちのアイコンがいらぬのではないか。阿波おどりでも産業まつりのどちらでもアイコンがあれば祭りだとわかるので、何か違うものがよいと思う。

今井委員 人のアイコンがないということであれば、食事をしている人があってもよいのではないか。

事務局 最後にこの後の流れを説明する。3月下旬に市ホームページにてパブリックコメントの検討結果を掲載し、4月1日号の市報にも掲載予定である。また、本日いただいた内容について必要な修正を加えて、プランの確定版とする。出来上がったプランは、製本が終わり次第、各委員に送付する。

中庭委員長 1年間忌憚のない意見をいただき、感謝する。これにて委員会は閉会としたい。意見交換の場が設けられる予定なので、みなさんにも声がかかるかもしれない。その時はよろしくお願ひしたい。

4. 閉会（午後4時30分）